

男女共同参画情報誌

じょいんと

じょいんと

Vol.15

2008年・秋

●市長インタビュー特集



平成20年度 周南市男女共同参画フォーラム

ありがとう すてきなパートナー

日時 11月22日(土) 10:00~15:15

会場 周南市社会文化ホール

内容 午前の部 10:00~12:00 ワークショップ

午後の部 13:00~13:10 開会セレモニー

13:10~13:35 アトラクション

13:40~15:10 講演会「家族の中のコミュニケーション」

講師 市場 尚文さん

周南市

男女共同参画について熱く語る



市長さん

私たち「じょいんと」の編集委員4名で、周南市の男女共同参画の取り組みやまちづくりなどについて、市長さんにお聞きしました。



編集委員(渡邉)

市長さんとして周南市の男女共同参画社会の実現に向けてどのように取り組んでおられますか？

男性、女性、お年寄りや若者、そして障害者の人みんなにチャンスが与えられるような社会がいいのではないかと思います。

そして、その人たちを大切に作る社会というのが基本で、市長の仕事はそこです。

その人たちにいかに社会参画してもらおうかということをやります。

編集委員(古木)

具体的には、どのように進めていらっしゃいますか？

市役所では、今年4月、3名の女性を副次長に登用しました。市役所内の女性職員は、全体の約31%です。課長補佐クラス以上の管理者のうち、女性の割合は、五年の6.5%から7.3%に上がっていますが、約14人に1人です。

数字管理がいいとは言いませんが、女性が30%いるなら、マネージャーも30%。本人の能力と希望があるのなら、本当はそこまでしないとけないと思っています。

編集委員(藤本)

全国的には、未婚率が男女ともに増加傾向にあると聞いています。晩婚化や未婚化は、少子化社会に影響していると思いますが、市長さんは少子化対策についてどんなお考えをお持ちですか？



環境を整備すれば、子どもは増えます。環境整備の中には、保育園とか児童クラブの時間延長とか、制度的なものもきちっとしなければいけません。

それと「若い人がここに残りたい。」と思うことが大切です。周南市は、高卒の就職率が100%です。また、12月1日から徳山中病院に「周南地域

休日・夜間子ども急病センター」が開設されます。夜中の救急患者の約5割は赤ちゃんや幼児のようです。特に注目したいのは、小児科の先生が24時間待機していただいていることです。「たらいまわしゼロ」で、二次救急にも対応できます。日本でもなまちはありません。

子どもを産んで育てるなら、ぜひ周南市に来てください！！



編集委員(古木)

ところで結婚を決められたときのポイントは？

料理です。料理のセンスがよくて、美味しい。料理は、気持ちを込めて作らないと美味しくないですね。

子どもがお弁当がいいというのは、お母さんの愛情なんです。手をかける、まなざし……。料理が美味しければ、お互いに気持ちが通じるんですね。

その他、私に持ち得ないセンスもポイントでした。

編集委員(藤本)

夫婦が仲良くやっていく秘訣は、なんですか？

思いやりです。お互いに補充しあうこと。ゴミ出しは僕がします。風呂の掃除も僕です。料理は彼女ですが、「週間くらい妻がいないときは2日くらい作っています。自然に役割が分かれていますね。

編集委員(渡邉)

市長さんは、子育て等にどのくらいかかわっていましたか？

NTT時代の一番忙しい時期だったので、子育てには、かかわれなかった。反省、反省、また、反省。その分、妻に迷惑をかけました。

編集委員(古木)

今、男女ともに約4割の人が「子どもができて職場を続ける方がよい」というように意識が変わってきています。しかし現実には出産を機に約7割の女性が仕事を辞めています。

女性が働き続けるための環境整備について、どう考えておられますか？

以前の職場で最初の女性の重役は、3人の子どもの育児休暇をとった人でした。職場復帰した時に、同期の男性より仕事ができるので、係長、課長に抜擢しました。

1年でも2年でも休んでもいいから、籍が置けるようにしてほしいと思います。

男女共同参画というのは権利もありますが、義務も生じます。それが裏表にならないと絵に書いた餅になるので、そこが難しいですね。

編集委員(橋本)

仕事と子育ての両立支援のひとつとして育児休暇の取得がありますが、市役所内では、男性が育児休暇を取得された実績はありますか？



市役所の男性で1人、育児休暇をとった人がいます。大したものです。

前の会社で、私が人事部長になったとき、「一切の残業を禁止」としました。全曜日オーダーを出してはいけません。必ず月曜日、それができなくてできないかが優秀な管理者かどうか。トップの意識改革が必要でしょう。

また、システムや仕事のやり方を変えないといけないと思うし、それは経費削減にもつながります。

編集委員(橋本)

男女がともに働きやすい職場づくり等に積極的に取り組む企業に対して、市として支援をされるお考えはありますか？

ちょっと気の利いた、思いやりの施策をやるような企業は、市でも表彰したいですね。

なかなかそいつのを認めてもらえるとは思っていないので、それならうちもやろうという事業所がでてくるのではないのでしょうか。その支援については約束します。

編集委員(渡邉)

市長さんはいつもセンスよく着こなしておられ、「明るい」というイメージがします。まちづくりにも、関係するのでしょうか。



市役所は暗いから、「市役所を明るくしよう。」といつも言っています。

着るものを明るくするとパワーが出ます。お客様は、市の職員の服装を見て、まちが元気かどうか見ると、「やるぞ」という感じが出れば、それが市民サービスにつながるかな。

まちもそうなんです。今年は花火大会をやりました。祭もやる人がなかなかいませんが、市でも全部はできません。

まずやるのは自分。それが出来なければ互助。どうしてもだめな時に扶助。

自助、互助、扶助。ぜひとも、自助から互助でやっていただくとうりがたいですね。

編集委員(藤本)

最後に、周南市の男女共同参画をこれからどのように進めていかれるのでしょうか？

具体的な成果が出るように推進していきたいと思っています。市長も旗を振りますが、みなさんの力が大切です。

男性と女性が、社会の対等なパートナーとして、一人ひとりが輝き、誇りを持って笑顔で暮らすことができる社会。女性の笑顔がステキで、男性がキラキラ輝いた社会を実現させていきたいですね。

私は、「一笑一若」、一回笑うと一つ若くなるという言葉が好きで、いつも皆さんに言っています。

編集委員

今日はいろいろなことをお話し、まちづくりに対する市長さんの熱い思いが伝わってきました。私たちは、市民の方に読みやすく、わかりやすい情報誌づくりに努めてまいりたいと思っています。本日はありがとうございました。



周南市男女共同参画審議会委員

男女共同参画審議会委員は、男女共同参画に関わりの深い団体や機関から推薦を受けた人、学識経験者、公募で選ばれた方々です。市が取り組む男女共同参画行政に意見をいただいたり調査研究をしていただきます。

〈任期は平成21年10月31日まで〉

青木 澄代	女性団体	中川 明子	学識経験
有國美恵子	地域活動	中津 直子	女性団体
磯部 康男	地域活動	原田 和幸	職域関係
大寺 和美	一般公募	原田 洋子	専門機関
尾崎 保行	専門機関	福田みどり	女性農業者
岸田 孝三	職域関係	丸山沙由里	職域関係
黒神 欣生	職域関係	三宅 公子	女性団体
坂本 良夫	一般公募	八田 善穂	学識経験
佐野千鶴子	専門機関	(男性7名・女性10名)	

周南市男女共同参画推進員

市では地域に根ざした男女共同参画を推進するために、市民7名の方に男女共同参画推進員として活躍していただいています。〈任期は平成22年7月31日まで〉



平岡 正夫

推進員になり、改めて男女の立場の違いを見直す事ができました。まず自分達男性が意識を変えなければ、男女の人権の尊重にはならないと思います。参加ではなく、参画をする事で自分自身の意識を変えていきたいと思っています。



國廣真由美

様々な分野において、女性の出番、男性の出番、それぞれ今まで出番の少なかった分野の環境づくりをして出番を多くしたいですね。



宮野 博

年齢、性別を問わずに相互理解に務め、まずは参画することから始めたいと思います。子どもたちの明るい未来のためには、「男女共同参画」の意識が大切な要素だと感じています。



滝口 芳美

普通の市民です。男女共同参画を知り、理解を深める事によって、これからの人生を爽り多いものにしていきたいと思っています。



村上 義雄

理想と現実には、かなりのギャップがあり、特に家庭においては、男性の更なる協力姿勢と意識づくりが必要だと思っています。地域活性化に向け、積極的に取り組みたいです。



長嶺 信子

まずは、一人でも多くの人に正しく知ってもらう事が大切。いろいろなフォーラムや講演など積極的に呼びかけ、「男女共同参画」の輪を広げていきたいと思っています。



山本 耕輔

これから皆さんと学びつつ、少しでも多くの人に「男女共同参画」を知っていただけるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



配偶者からの暴力に関する相談窓口

配偶者暴力相談支援センター(山口県男女共同参画相談センター)

・相談専用ダイヤル ☎083(901)1122

・DVホットライン(緊急用) ☎0120-238122

最寄りの警察署

・周南警察署 ☎0834(21)0110

・光警察署 ☎0833(72)0110

山口地方方法務局周南支局 ☎0834(28)0244

市役所市民なんでも相談センター

☎0834(22)8320

編集後記

市長さんとお話し、明るさと楽しいまちづくりは心配ないと感じました。我々の子ども世代が新しいスタイルの子育てに挑戦でき、それが少子化対策になる、そんな社会づくりを市民共同参画で挑戦すべきと改めて思う昨今です。 橋本 徹

市長さんの基本的な考え方、理念がよく伝わってくる嬉しいインタビューでした。「一笑一若」は、教訓的な言葉で、とても印象的でした。市民「参画」社会のあり方を考えるヒントを提供する紙面づくりを心がけたいと思っています。

藤本 隆春

今年度もじょいんとの編集委員として参加させていただくことになりました。いつ、卒業できるのかなあ…?卒業できないって事は、まだまだ勉強が足りないってことなんですかね。では、卒業を目指して頑張りますか! 古木 緑

今回市長さんにお話を伺って、男女共同参画に対しての大きな意気込みを感じました。

多くの人の中に男女共同参画の意識が芽生えはじめた今、次のステップに踏み出すための様々なきっかけや方策が必要なのかもしれませんね。新しい顔ぶれの編集委員さんとともに、そんなきっかけ探しをしたいなと思います。 渡邊 良子

問い合わせ先

〒745-8655 周南市岐山通1-1 周南市企画課男女共同参画室

☎0834(22)8205 ☎0834(22)8475 Eメール kikaku@city.shunan.lg.jp